

# 十三小学校研究推進便り

6月9日(木)、5限目 第2回の研究授業。

2年 ばめんごとに読もう。

「お手紙」

植村 優子 学級

## <研究授業参観に当たって>

今回は、少し今までの学習の方法と異なった授業の流れになります。「人物の気持ちを直接問わないで、人物の様子や気持ちを考える」授業の展開をするために、「比較」「選択」という方法をとります。子ども達の話し合いにも注目です。新しい展開方法としての提案です。

## <研究授業では、つきの視点でみてください>

### 単元構成の工夫（単元を貫く言語活動）

「読みの観点」の習得→活用が図れる流れであったか。

- ① 言語活動に迫るための活動が効果的であったか。

### 協働的な学びに迫る交流について

- ① 自分の考えを持つための工夫（ワークシートやノート指導、助言、思考ツール等）
- ② 交流のあり方

### 言語力・表現力を高める工夫

- ① 揭示物は適切か。
- ② 関連図書が生かされているか。

### <植村先生のつぶやき>

子ども達は、がまくんとかえるくんのお話が大好きです。並行読書で用意したシリーズ本を競い合って読んでいます。「お手紙」の学習をしなかった日には、「がまくんとかえるくんがかわいそう…」という子もいるほどです。がまくん・かえるくんシリーズは、2年生の子ども達にとって、ぴったり合う教材だと感じられます。

今回は、お手紙を託すのをカタツムリではなく鳥にたのんだら…という投げかけをします。子ども達の反応が楽しみです。そして、どちらが良いかということについて、自分の意見をしっかり持って話し合っていってほしいと思っています。

## <授業参観後の討議会について>

ワークショップ型の討議会を行います。授業を参観しながら、気付いたことを付箋「成果（ピンク）」「課題（黄）」「改善策（青）」に記入してください。

今回は、3班（1グループ4～5人）に分かれて話し合います。裏面で班と役割を確認してください。

○自分の思いや考えを広げたり高めたりするための話し合いの評価をする。

- (低学年)    • 大事なことを落とさずに話したり聞いたりできたか。  
              • 順序を考えて話すことができているか。  
              • 自分の意見に理由を言うことができたか。
- (中学年)    • 友達の意見を聞いて自分と同じところ、違うところを意識できたか。  
              • 友達の意見に対して自分の考えを言うことができたか。  
              • 理由や例などを挙げて自分の意見を説明できたか。
- (高学年)    • お互いの意見を聞いて、考えの変化に気づいたり、新たに思ったことや考えたことが見つかったりしたか。  
              • 目的や意図に応じて的確に話しあうことができたか。  
              • 複数の根拠を関係づけながら話すことができたか。